

地域理解の促進に向けた取組状況

《長崎市長から長崎大学長への要請》

○平成30年2月14日 田上長崎市長から河野長崎大学長に対して、地域理解の取組について以下の通り要請（2月2日に行われた、市長と地域住民との話し合いを踏まえたもの）

－田上市長からの要請要旨－

- ・地域とのコミュニケーションをしっかりとって頂きたい。
- ・その中でも地域連絡協議会は重要な場所となるので、これからもしっかりと取り組んで欲しい。
- ・地域との共生を計画的に進めて頂きたい。

－河野学長からの回答要旨－

- ・まだ大学の説明を聞いたことがないという住民の方を含め、BSL-4施設に関する説明を繰り返し行っていきたい。
- ・地域連絡協議会の運営についても、双方向のコミュニケーションをしっかりと取っていきたい。
- ・地域との共生はBSL-4施設に限らず大学の大きな使命と考えている。

《長崎大学において実施した地域理解のための主な取組(前回連絡協議会以降)》

1. 地域連絡協議会の開催

(地域連絡協議会の運営の改善)

○ 市長からの要請等も踏まえ、地域連絡協議会において丁寧な議論を行うため、第14回以降の地域連絡協議会において、以下のような改善を実施。

－資料の事前送付 －委員との意見交換に必要な時間確保(第15回5時間、第20回4時間の会議を開催)

平成29年7月4日 第11回地域連絡協議会

－基本構想(中間まとめ)について、委員からの質問・意見への回答

平成29年8月22日 第12回地域連絡協議会

－高度安全実験(BSL-4)施設の基本構想について

平成29年12月20日 第13回地域連絡協議会

－河野学長の就任挨拶 －高度安全実験(BSL-4)施設の基本構想について
－諸外国のBSL-4施設の状況について
－安全確保上考慮すべき事象(リスクアセスメントの実施状況)について

平成30年2月9日 第14回地域連絡協議会

－第13回会議での発言(基本構想の印刷・配付部数)の訂正
－地域連絡協議会議長宛「意見書」について
－安全確保上考慮すべき事象(リスクアセスメントの実施状況)について
－委員からの質問・意見への回答 －平成30年度政府予算案

平成30年3月18日 第15回地域連絡協議会

－第14回会議での宿題事項
－安全確保上考慮すべき事象(リスクアセスメントの実施状況)について
－委員からの質問・意見への回答

平成30年5月8日 第16回地域連絡協議会

－平成30年度の委員について －平成30年度の主なスケジュールについて
－安全確保上考慮すべき事象(リスクアセスメントの実施状況)について 等

平成30年6月29日 第17回地域連絡協議会

－BSL-4施設の設計概要について －委員からの質問・意見への回答
－第16回会議での指摘事項について

平成30年7月20日 第18回地域連絡協議会

－リスクアセスメント等に基づく対応 －委員からの質問・意見への回答
－BSL-4施設の建設までの主な工程について
－事故・災害等の際の緊急時対応

平成30年8月10日 第19回地域連絡協議会

－委員からの質問・意見への回答

平成30年9月28日 第20回地域連絡協議会

－長崎市中高層建築物等の建築紛争の予防に関する条例に基づく説明会
－バイオセーフティー管理監 －平成31年度概算要求
－熱研BSL-3実験室排気検査 －リスクアセスメント等に基づく対応
－事故・災害等の際の緊急時対応 －委員からの質問・意見への回答

平成30年10月26日 第21回地域連絡協議会

－第20回会議での指摘事項について －委員からの質問・意見への回答

平成30年11月14日 第22回地域連絡協議会

－今後のスケジュールについて －委員からの質問・意見への回答

(地域連絡協議会における施設のハード・ソフトに関する御説明・協議の状況(整理))

- 主として「施設のハード面」に関しては、BSL-4施設の設計方針や設計概要等に関して御説明・協議を実施し、その内容について確認いただきました(委員から出された主な御質問・御意見等は以下の通りであり、それぞれ回答させていただいております)。今後も、建設工事の進捗等の御説明、地域の皆様を対象とした施設見学会の実施等、地域連絡協議会等での御意見も踏まえながら、御説明を継続していきます。

(主な御質問・御意見等)

- ・諸外国等のBSL-4施設は他の施設とつながっていたが、そのような意見はなかったのか[→出来るだけセキュリティを高めることを重視して現在の案になっている。建物の中には、BSL-2,3の実験室も設置する予定である]
- ・動物準備室の部屋の大きさは十分か[→実験を行う動物の数に見合った部屋となっている]
- ・階段等はなぜ二つずつあるのか[→火災に備えて二方向避難が可能な配置としている]
- ・BSL-4実験室階は建物の上の方に設置すべきではないか[→実験室階の上下に機械室、排水処理室等を置く三段構造となっており、排水処理室等の下に大きな空間を設けることのリスク等の観点から現在の案となっている]
- ・屋上のHEPAフィルタの排気口はフェンス等で覆われているのか[→屋上の排気口に小屋を置く]

- 主として「施設のソフト面」に関しては、リスクアセスメントの実施状況や事故・災害等の際の緊急時対応に関する御説明・協議を実施してきました。今後も、施設の稼働までに、施設の安全確保(ヒューマンエラーも見越した対策等)に向けたソフト面の検討を継続的に実施し、特にこれまで地域連絡協議会等で御指摘があり今後対応すべき以下の項目も含めて、地域連絡協議会等での御意見も踏まえながら、御説明・協議を継続していきます。

➤安全管理マニュアル

(研究者の就労規制、作業前後の点検項目、マニュアル遵守の方策(罰則規定)等を含む。)

➤教育訓練

➤施設に立ち入る者の人物審査

➤緊急時対応

➤地域への情報開示・チェックの在り方

等

2. 住民説明会等の開催(直近開催したイベント等)

○地域住民を対象とした説明会

- 平成30年4月12日 坂本地区住民説明会(28名参加)
- 4月17日 山里地区住民説明会(51名参加)
- 7月31日 坂本地区住民説明会(27名参加)
- 8月2日 山里・高尾地区住民説明会(33名参加)
- 9月8日 本尾町自治会住民説明会(38名参加)
- 10月5日 浜口町自治会住民説明会(18名参加)
- 11月7日 岡町自治会住民説明会(19名参加)
- 11月13日 高校生との意見交換会(6名参加)

○企業・団体・マスコミを対象とした説明会

- 平成30年4月20日 マスコミ向け勉強会
- 5月9日 地元医療企業向け説明会(46名参加)
- 8月～12月 地元経済・医療団体対象説明会
(計14団体222名参加)

○地域イベントへの参加

- 平成29年12月17日 山里地区ふれあいセンタークリスマス会に参加
- 平成30年1月27日 平和町商店街「うまかもん祭り」参加
- 8月4日 平和町商店街夏祭り参加
- 10月13・14日 山里わくわく秋祭り参加
- 12月16日 山里ふれあいクリスマス会参加予定

○市民向け公開講座等

- 平成30年3月25日 「様々な病原体とのお付き合い」(60名参加)
- 8月5日 「中高生のためのサマースクール」開催
(83名参加)
- 8月20日 「夏休み・子ども科学教室」開催(17名参加)
- 10月6日 リケジョ憧れセミナー開催(34名参加)
- 11月9日 市民公開講座(日本熱帯医学会との共催。206名参加)



3. 欧州のBSL-4施設の視察、新聞広告での周知等

- 平成30年1月 長崎市議会主催でのドイツ・スウェーデンBSL-4施設視察(長崎市議7名参加)
→平成29年2月にドイツのBSL-4施設を視察した地域の方の声と併せて、長崎新聞に広告記事
を掲載(3月31日付け)。



- 平成30年9月 長崎新聞取締役からのインタビューの形式で、BSL-4施設の必要性、
安全性、地域理解等に関する広告記事を掲載(9月29日付け)。



- このほか、感染症に対するニューズレターを
毎月周辺自治会等に配付(毎月約4,000部)。



これまでに実施してきた地域理解の促進に向けた取組 (平成22年以降の取組)

○地域住民の方々、地元経済・医療団体等の方々を対象とした説明会の開催

➡ 計88回、のべ2,459名の方々の御参加

○市民公開講座等の開催

➡ 計55回、のべ4,024名の方々の御参加

○ニューズレター(全30号)・パンフレット・新聞1面公告等の配付

➡ 坂本キャンパス周辺地域を中心としてのべ1,840,386部の配付

その他にも、感染症共同研究拠点ホームページの開設、フリーダイヤルの設置等を通じて、地域の方々から御質問・御意見を常時頂けるような環境を整備

今後も、地域住民の声に謙虚に耳を傾けながら地域と共生するという姿勢で、BSL-4施設の稼働前後を問わず、地域の方々に本件計画を御理解いただくための取組を継続的かつ丁寧に実施していきます。